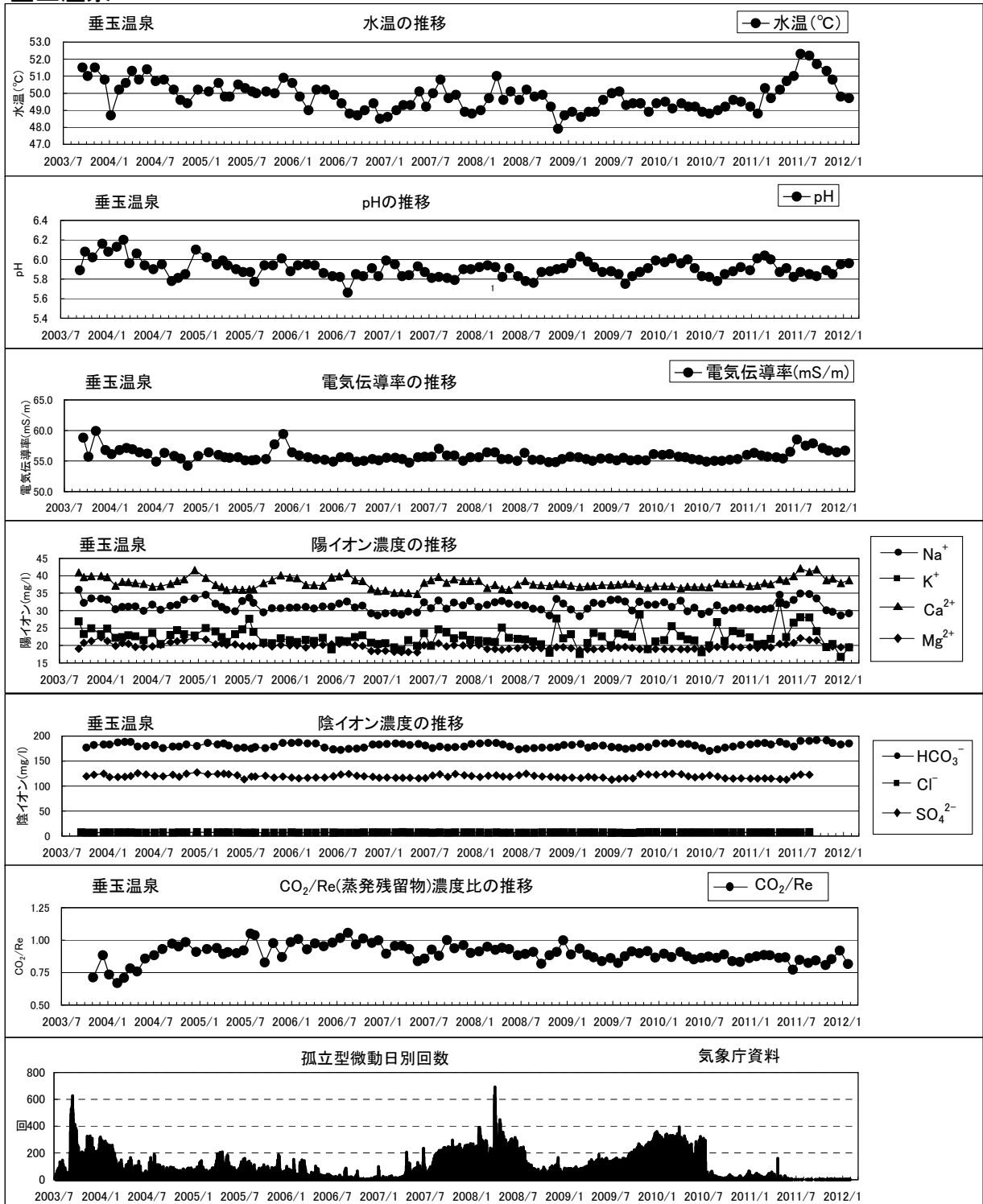


阿蘇火山における温泉観測

垂玉温泉



阿蘇垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移(孤立型微動日別回数は気象庁資料)。源泉は、中岳火口から南西約5kmに位置している。

2011年4月中旬頃から、火山性微動振幅や火口からの二酸化硫黄放出量がやや増大し、5月中旬～6月初旬には、ごく小規模な噴火が継続して発生した。

垂玉温泉においては、泉温が昨年2月頃から上昇傾向に転じ、7月には約3.5°Cの上昇が観測された。電気伝導率や溶存イオン類にも、僅かな増加が観測されたが、いずれもほぼ通常のレベルまで漸減した。

溶存二酸化炭素相対濃度(二酸化炭素濃度/蒸発残留物濃度)にも、顕著な変化は認められない。